

かんがえるって おもしろい！

がくしゅう ひかりのくに もっとしりたい！

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
表

3

6

7

8

9

10

今日の活動のねらい

- ★影の変化に気付き不思議さや面白さを味わう
- ★自分なりに工夫し試行錯誤する
- ★友達と一緒に見つけた発見やイメージを言葉で伝え合って遊ぶ

活動時間

20分

タイミング

天気の良い日

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい！ 4月号
表紙

影に色をつけよう！



活動の内容と流れ

表紙の読み取りを楽しみ道具を作って実践してみる

保育者の絵本1冊で表紙の読み取りを楽しむ

→気付いたことを発表し合う

→カラーセロハンなどを用意し道具を作ってみる

→外に出て影遊びを楽しむ



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
絵本を見てから実際に
外で影を作ってみる

○
表紙を見ながらどんな素材
だと色の影ができるか考え
られるよう声かける



○
どんな道具を作りたいか
話し合い必要な材料について
クラスで考える

◆
天気の良い日、曇りの日、
時間帯など条件を変えて
試せるようにする

活動後、振り返りのポイント

- ★影に興味を持ち、遊びを楽しんでいたか
- ★自分でイメージを広げ、作ることを楽しんでいたか
- ★友達と話し合ったり一緒に活動したりする姿が見られたか

今日の活動のねらい

- ★世界のじゃんけんや、他国の文化に興味を持つ
- ★友達と一緒に遊ぶ楽しさや面白さを味わう
- ★ルールのある遊びを楽しむ

活動時間

30分

タイミング

進級後、友達作りの
タイミングで

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.2~7

社会

せかいのともだちと
じゃんけんぽん!



活動の内容と流れ

絵本で世界のじゃんけんに興味を持ち
友達とやってみる

じゃんけん列車を行い、じゃんけんへの
導入をしてから絵本を配る

→インドネシアのじゃんけんを知って

絵本を見ながら保育者と一緒にやってみる

→保育者があらかじめ誌面のリンクの動画を見ておき、国によってかけ声なども違うことを伝える

→世界地図や国旗を見ながら世界について興味を引き出していく



保育者の◆環境づくりと○援助

絵本や世界地図が見やすい
ように子どもたちが半円状
に座れるようにする

はじめに日本のじゃんけんを行い
身近な遊びから世界のじゃんけん
に興味がつながるようにする



新しい環境に慣れていない子どもも
いることを考慮し、ペアを固定せず
に安心して参加できるようにする

ソウ、人、アリの手の形や勝敗関係が
わかる絵カードを用意する

勝敗にこだわらず、友達との関わり
や意見を出し合えたこと、遊びその
ものを楽しめるよう声かけする

活動後、振り返りのポイント

- ★世界のじゃんけんに興味を持ち、日本との共通点や違いに気付いていたか
- ★手の形や勝敗関係を理解して遊べたか
- ★友達との関係作りにつながる活動になったか

今日の活動のねらい

- ★名前遊びを通して頭音の認識を深める
- ★頭音集めに興味をもつ

活動時間

20分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.8~13

言葉

なまえあそびをしよう!



活動の内容と流れ

絵本を使って頭音について触れ、
身の回りで探して理解を深める

保育者の名前で最初の音は何かクイズを出してみる

→絵本を読む

→p.12-13で「か」の付く言葉、「さ」の付く言葉を
子どもたちと見つけ、黒板などに書き集めていく

→自分の名前の頭音は何かに気づき、

園内など身の回りから探して発表する

* 4月号のなるほどポスターやあいうえお表を活用する



保育者の◆環境づくりと○援助

◆
文字も見られるように
黒板などに書いておく

○
まずは「文字」ではなく「音」
に気付けるようにする。一言
一言区切って丁寧に発音し、
最初の音を見つけやすくする



◆
あらかじめ探しやすいように保育者
が環境を整え、子どもたちが自分の
名前の頭音と同じものを見つけやす
いようにしておく

○
身の回りで見つけた言葉のものは
持ち寄ったりその場に見に行ったり
するようにし、みんなの意見を
喜ばう

活動後、振り返りのポイント

- ★自分の名前の最初の音に気付けたか
- ★友達の名前に興味を持てたか
- ★頭音集めを楽しんでいたか

今日の活動のねらい

- ★鏡の不思議さ、面白さを感じる
- ★友達と協力しながら試行錯誤し、探究を楽しむ

活動時間

30分

タイミング

進級後、クラスが
少し落ち着いた頃

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.14~19

科学

ミラクルカードで あそぼう!



活動の内容と流れ

絵本を見て鏡に興味を持ち、実際に使って友達と楽しむ

絵本を読み、カードをあてて映り方確かめて楽しむ

→自分ならどう使うかグループごとに分かれて話し合う

→身近な道具や自然物などで自由に試し、試行錯誤する

→発見したことを伝え合い、友達の発見にも興味を持つ

*子どもの気持ちの高まりに合わせ、継続的に取り組んだり、
家庭へ共有したりして遊びを深める



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
自由に試せる素材(葉、花、
積み木、クレヨンなど)を
準備しておく

○
鏡の特性に気づき、安全に活動
できるよう、友達と一緒に使い
方を確認できるよう促す



○
子どもの発見や気づきを
共感しながら受け止める。
クラス全体へ共有し、次
の発見へと広げていく

◆
鏡(ミラクル)カードの他に、
姿見やガラス製でない手鏡など
を用意しておく

活動後、振り返りのポイント

- ★鏡の性質に興味を持ち、自分なりに考えて試行を楽しんでいたか
- ★発見したことを言葉で表現したり、共有したりしていたか
- ★友達との関わりが生まれていたか

今日の活動のねらい

- ★状況を言葉にすることで気持ちの表現を豊かにする
- ★気持ちを表現する言葉に触れる

活動時間

15分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.20-21

気持ちを言葉に
どうして うれしいのかな?



活動の内容と流れ

絵を読み取り表情やシチュエーションを考える

子どもたちが探せるよう絵の読み取りに
時間をかける

- 見つけた「うれしい」を発表する
- どんな気持ちか、またシチュエーションを
言葉で表現してみる
- 「帰る前にみんなが見つけた『うれしい』を
教えてね」と伝え発表する時間を作る



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
グループを作り、少人数で
じっくり絵を見られるよう
にする

○
子どもたちの意見を肯定
する言葉をかけ、発言し
やすい雰囲気を作る



○
発言が難しい子どももその子
なりに参加できるよう答えや
すい投げかけを工夫する

○
保育中に子どもの「うれしい瞬間」
を見つけた際、「今のうれしいこと
だね! 覚えておこうね」と言語化
して意識を促す

活動後、振り返りのポイント

- ★意見を発表したり友達の意見を聞いたりすることを楽しめたか
- ★自分の生活の中での「うれしい」を見つけられたか

今日の活動のねらい

★ダンゴムシの生態に興味を持つ

★生命の大切さに気付く

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.22~25

自然

もっと しりたい!

だんごむし



活動の内容と流れ

ダンゴムシのクイズを楽しみ、家を作る活動につなげる

ダンゴムシについて知っていることを伝え合う

→絵本を読み、クイズを楽しみながらダンゴムシについて知る
気付いたことを話し合う

→付録図鑑のダンゴムシのページを見える

→1人1つ空き箱やペットボトル、お菓子の缶などに
ダンゴムシの家を作る

→実際に戸外へ持って行き、ダンゴムシを探して自分の作った家に入れて観察する



保育者の◆環境づくりと ○援助

ダンゴムシに関する絵本や

図鑑を用意しておく

「なるべくずかん」も活用ください

○

「どうして丸くなるのかな?」「どんな
場所が好きかな?」など子どもの気付
きを引き出す問いかけをする



○

ダンゴムシの家を作るなら
どんなものがよいか、意見
を出し合う

○

ダンゴムシについて、飼育や
調べるなどしてわかったこと
を表にしてまとめていく

○

虫が苦手な子には無理強いせず友達
と作ってもよいというようにみんな
がそれぞれ楽しめるようにする

ダンゴムシの家の素材になるような
空き箱やペットボトル、お菓子の缶
などをあらかじめ集めておく

活動後、振り返りのポイント

★ダンゴムシの生態に興味を持っていたか

★ダンゴムシの家を自分なりに工夫しながら楽しんで作ることができたか

★自分の発見を伝えたり友達の意見を聞いたりなど関わりが見られたか

今日の活動のねらい

- ★数の基礎を身に付ける
- ★数に興味を持ち、自ら参加し活動しようとする

活動時間
20～30分
タイミング
昼食前

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.26～35

数

パンダの パン屋さん



活動の内容と流れ

絵本の中のパンを数えたり一対一対応によって
過不足を考えたりする

先生の本をみんなで見ると

→クロワッサン、メロンパンの数を数える

→お客さんとクロワッサンがちょうど足りる
ことに気付く

→フルーツサンドの数を数え、種類ごとに何個
あるか足りる、足りないなどを確認する

→それぞれの絵本でシールを貼って楽しむ



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
パンに見立てられる玩具や
カゴなどを用意しておく

○
1ページずつ子どもたちが
理解できているか確認しな
がら進めていく



◆
数える際はパンを指で追ったり印を
つけたりできるようにしていく

○
保育者1冊の絵本でみんなて
一緒に1つずつ数えていくな
ど読み方を工夫する

○
読後も「足りるかな」「余るかな」
の遊びを取り入れていく

活動後、振り返りのポイント

- ★絵本のパンに興味をもち、楽しんで参加していたか
- ★パンの種類や数に注目し、自分から数えたり探したりする姿が見られたか
- ★一人ひとりの数への興味や理解の様子を把握できたか